

1		点
(問1)	0	5
(問2)	$x=2, -\frac{4}{3}$	5
(問3)	$n=194$	5
(問4)	$\frac{17}{18}$	5
(問5)		5
[解答例]		
<p>(答え) $a = \frac{5+4\sqrt{5}}{16}$</p>		
(問2)	6 倍	8

2		点
(問1)	(1) $(\frac{4}{3}, -\frac{8}{3})$	7
(問1)	(2) 【途中の式や計算など】	10
[解答例]		
<p>点Bを通りx軸に平行な直線を引き、直線ADとの交点をHとする。 四角形ABCDがひし形になるとき、 $AB=BC=8$ 直線lの傾きが2であるから、$BH=t$とおくと、 $AH=2t$ $\triangle ABH$は$\angle H=90^\circ$の直角三角形だから、 三平方の定理より、 $t^2+(2t)^2=8^2$ 整理して、 $5t^2=64$ $t>0$より、$t=\frac{8\sqrt{5}}{5}$ $AH=2 \times \frac{8\sqrt{5}}{5} = \frac{16\sqrt{5}}{5}$ 点Hのy座標は4であるから、 $A(\frac{8\sqrt{5}}{5}, 4 + \frac{16\sqrt{5}}{5})$ 点Aは曲線f上にあるから、 $a(\frac{8\sqrt{5}}{5})^2 = 4 + \frac{16\sqrt{5}}{5} = \frac{20+16\sqrt{5}}{5}$ よって、$a = \frac{20+16\sqrt{5}}{64} = \frac{5+4\sqrt{5}}{16}$</p>		
<p>(答え) $a = \frac{5+4\sqrt{5}}{16}$</p>		
(問2)	6 倍	8

3		点
(問1)	16 cm	7
(問2)	$\frac{a}{4}$ 度	8
(問3)	【選んだ1組の三角形】 $\triangle OAB$ と $\triangle HAO$ 【相似であることを証明】	10
[解答例]		
<p>辺ABと円の接点をEとする。 辺AB、辺ADは円に接するので、 $\angle OHA = \angle OEA = 90^\circ \dots ①$ 円の半径なので、$OH=OE$ 点Oは辺AB、辺ADから等距離にあるので、 線分OAは$\angle BAD$の二等分線である。 したがって、$\angle OAB = \angle OAD = \angle HAO \dots ②$ 同様に、線分OBは$\angle ABC$の二等分線なので、 $\angle OBA = \angle OBC \dots ③$ 四角形ABCDは台形なので、 $\angle DAB + \angle ABC = 180^\circ$ ここで、②、③より、 $\angle DAB = \angle OAD + \angle OAB = 2 \times \angle OAB$ $\angle ABC = \angle OBA + \angle OBC = 2 \times \angle OBA$ となるので、$\angle OAB + \angle OBA = 90^\circ$ したがって、 $\angle BOA = 180^\circ - (\angle OAB + \angle OBA)$ $= 180^\circ - 90^\circ = 90^\circ \dots ④$ となり、①、④より、 $\angle BOA = \angle OHA \dots ⑤$ よって、$\triangle OAB$と$\triangle HAO$において、②、⑤より、 対応する2組の角の大きさがそれぞれ等しいので、 $\triangle OAB \sim \triangle HAO$ 図</p>		
<p>※$\triangle ODC$と$\triangle HDO$についても同様に証明できる。</p>		
<p>(答え) $4\sqrt{6}$ cm²</p>		
(問2)	(2)	$\frac{24\sqrt{3}}{7}$ cm ³ 8

4		点
(問1)	$l=2\sqrt{39}$	7
(問2)	(1) 【途中の式や計算など】	10
[解答例]		
<p>$DN=x$とおく。 $\triangle CDN$は、$\angle D=90^\circ$の直角三角形だから、 三平方の定理より、 $CN^2 = x^2 + 2^2 = x^2 + 4 \dots ①$ 点Nから辺AGに垂線NSを下ろすと、 $AS=DN$より、$MS=x-6$ $\triangle MNS$は、$\angle S=90^\circ$の直角三角形だから、 三平方の定理より、 $MN^2 = (6-x)^2 + 4^2 = x^2 - 12x + 52 \dots ②$ $MN^2 = CN^2$であるから、①、②より、 $x^2 - 12x + 52 = x^2 + 4$ これを解いて、$x=4$ $MN=CN=2\sqrt{5} \dots ③$ $\triangle ACM$は、$\angle A=90^\circ$の直角三角形だから、 三平方の定理より、 $CM^2 = (2\sqrt{3})^2 + 6^2 = 48$ $CM>0$より、$CM=4\sqrt{3} \dots ④$ ③、④より、 $\triangle CMN$は、$CM=4\sqrt{3}$、$MN=CN=2\sqrt{5}$ の二等辺三角形である。 $\triangle CMN$の頂点Nから辺CMに垂線NTを下ろすと、 Tは線分CMの中点であり、$\angle CTN=90^\circ$であるから、 $\triangle CNT$において三平方の定理より、 $NT^2 = (2\sqrt{5})^2 - (2\sqrt{3})^2 = 8$ $NT>0$より、$NT=2\sqrt{2}$ よって、$\triangle CMN$の面積は、 $\frac{1}{2} \times 4\sqrt{3} \times 2\sqrt{2} = 4\sqrt{6}$ (cm²)</p>		
<p>(答え) $4\sqrt{6}$ cm²</p>		
(問2)	(2)	$\frac{24\sqrt{3}}{7}$ cm ³ 8

※ [] の欄には、記入しないこと

小計①	小計②	小計③	小計④

受 検 番 号	合 計 得 点